

# 最近の管内経済概況

(2021年3月の経済指標を中心として)

～ **新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にあり、  
持ち直しの動きに弱さがみられる** ～

最近の動きをみると、

- 生産活動は、持ち直しの動きがみられる。
- 個人消費は、持ち直しの動きに弱さがみられる。
- 観光は、一部に下げ止まりの兆しがみられる。
- 公共工事は、増加している。
- 住宅建設は、持ち直しの兆しがみられる。
- 民間設備投資は、減少している。
- 雇用動向は、弱い動きがみられる。
- 企業倒産は、件数、負債総額とも増加している。

全体として、管内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にあり、持ち直しの動きに弱さがみられる。

なお、先行きについては、新型コロナウイルス感染症の影響、国際経済の動向等を十分注視する必要がある。

※ 下線部は、前月から判断を変更した部分。

2021年5月17日

照会先 : 経済産業省 北海道経済産業局  
総務企画部 企画調査課

T E L : 011-709-2311 内線 2525

E-mail : hokkaido-kikakuchosa@meti.go.jp

U R L : <https://www.hkd.meti.go.jp>

# 管内経済概況判断の推移

(2021年5月現在)

発表月	2020年12月	2021年1月	2月	3月	4月	5月	前月との判断比較
総括判断	新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるが、一部に持ち直しの動きがみられる</u>	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるが、一部に持ち直しの動きがみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるが、一部に持ち直しの動きがみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により <u>厳しい状況にあり、持ち直しの動きに弱さがみられる</u>	新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にあり、持ち直しの動きに弱さがみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にあり、持ち直しの動きに弱さがみられる	
生産活動	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	
個人消費	一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる	一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる	一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きに弱さがみられる	持ち直しの動きに弱さがみられる	持ち直しの動きに弱さがみられる	
観光	一部に持ち直しの兆しがみられる	<u>弱い動きがみられる</u>	<u>悪化しつつある</u>	<u>悪化している</u>	悪化している	<u>一部に下げ止まりの兆しがみられる</u>	
公共工事	<u>減少している</u>	減少している	<u>増加している</u>	<u>減少している</u>	減少している	<u>増加している</u>	
住宅建設	下げ止まりの動きがみられる	下げ止まりの動きがみられる	下げ止まりの動きがみられる	<u>持ち直しの兆しがみられる</u>	持ち直しの兆しがみられる	持ち直しの兆しがみられる	
民間設備投資	減少している	減少している	減少している	減少している	減少している	減少している	
雇用動向	弱い動きがみられる	弱い動きがみられる	弱い動きがみられる	弱い動きがみられる	弱い動きがみられる	弱い動きがみられる	
企業倒産	件数、負債総額とも増加している	件数、負債総額とも減少している	件数、負債総額とも減少している	件数、負債総額とも減少している	件数、負債総額とも減少している	件数、負債総額とも増加している	

※下線部は、前月から判断を変更した部分。

上方修正 据え置き 下方修正

# 生産活動 ～ 持ち直しの動きがみられる ～

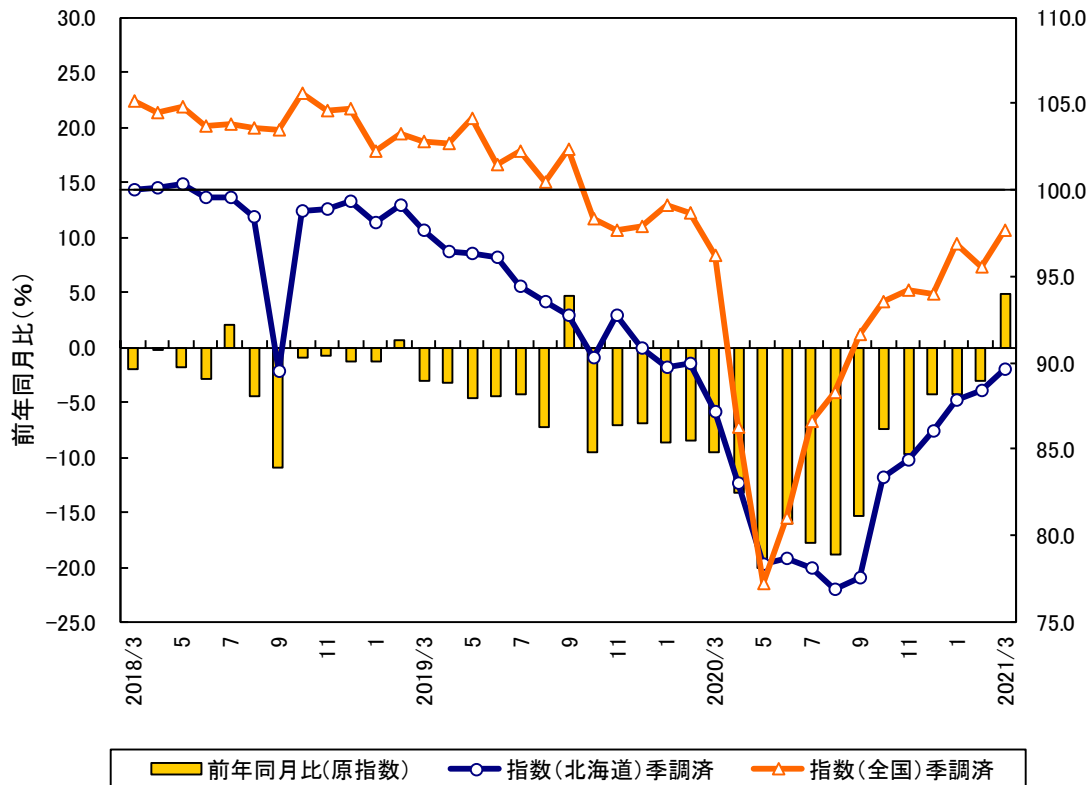
3月の鉱工業生産は、前月比+1.4%と7か月連続で上昇した。上昇業種は、化学・石油石炭製品工業など9業種となった。低下業種は、一般機械工業など6業種となった。

< 3月 >	
季節調整済指数	
北海道 (速報)	89.6 (前月比+ 1.4%)
全国 (速報)	97.7 (前月比+ 2.2%)

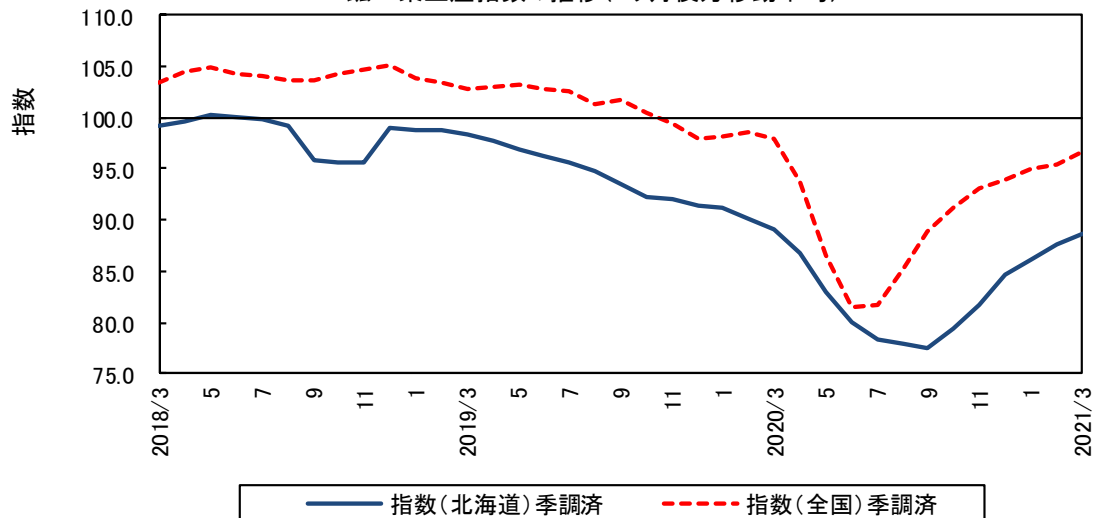
## 【ヒアリング内容】

- 自動車産業向けの需要が好調なことから、鋼半製品の生産が増加した。(鉄鋼業)
- 大型案件の減少により、一般機械の生産が減少した。(一般機械工業)
- 北海道新幹線のトンネル工事など、官公需が好調なために、生コンクリートの生産が増加した。トンネル工事、民間の大型施設の建設ピークはこれからなので、今後はやや増加すると予想している。(窯業・土石製品工業)

鉱工業生産指数 (2015年=100.0)



鉱工業生産指数の推移(3ヶ月後方移動平均)

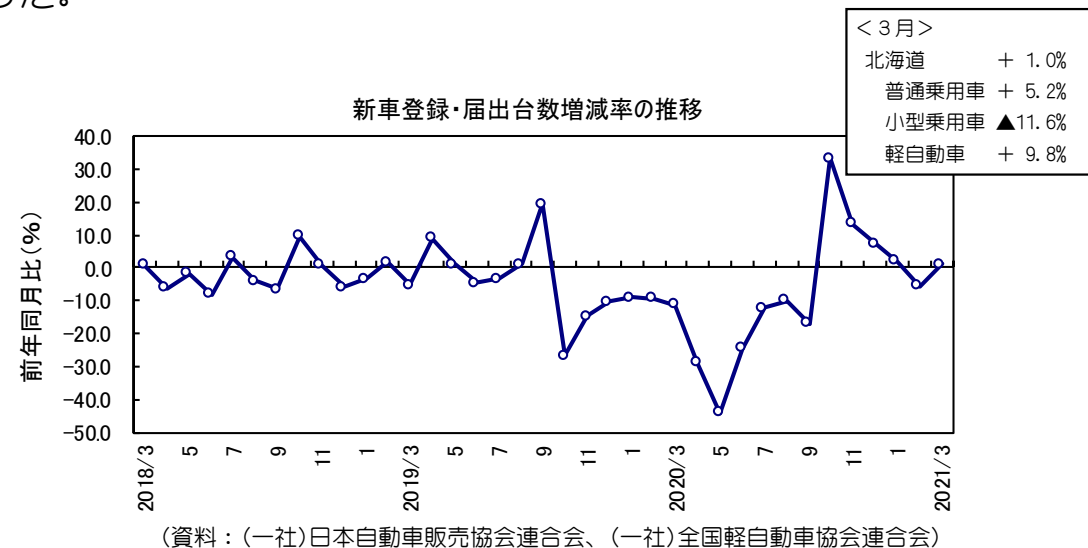
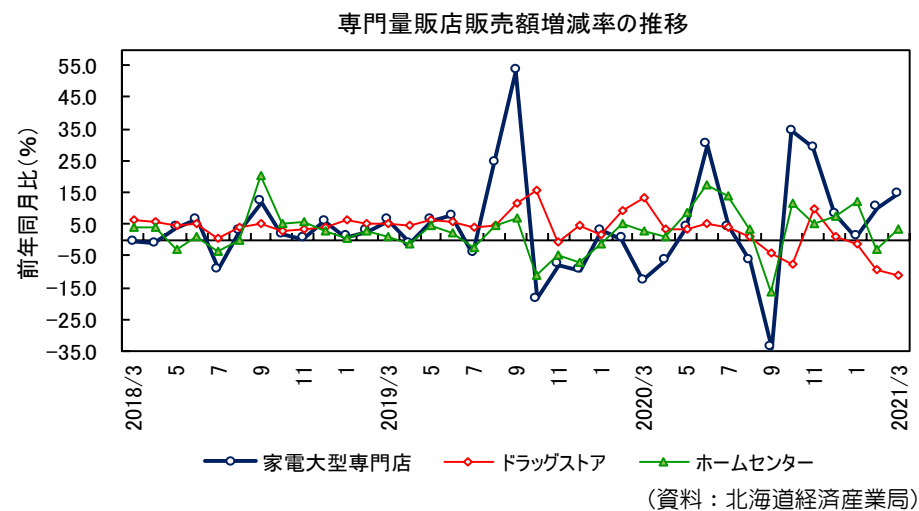
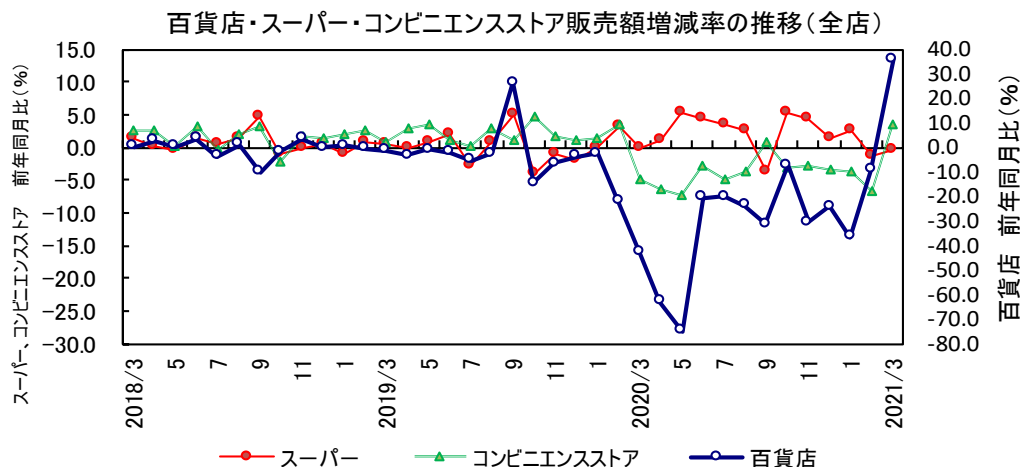


(資料：経済産業省、北海道経済産業局)

# 個人消費 ～ 持ち直しの動きに弱さがみられる ～

3月の個人消費は、スーパー、ドラッグストアは前年を下回ったものの、他の業態は前年を上回った。

- 百貨店は、前年同月に営業時間の短縮や臨時休業があった反動増などにより、前年同月比+36.0%と18か月ぶりに前年を上回った。
- スーパーは、前年同月に飲食料品の需要が増加した反動減などにより、同▲0.5%と2か月連続で前年を下回った。
- コンビニエンスストアは、同+3.5%と6か月ぶりに前年を上回った。
- 家電販売は、同+14.5%と6か月連続で前年を上回った。ドラッグストアは、同▲11.1%と3か月連続で前年を下回った。ホームセンターは、同+3.6%と2か月ぶりに前年を上回った。
- 新車販売は、同+1.0%と2か月ぶりに前年を上回った。

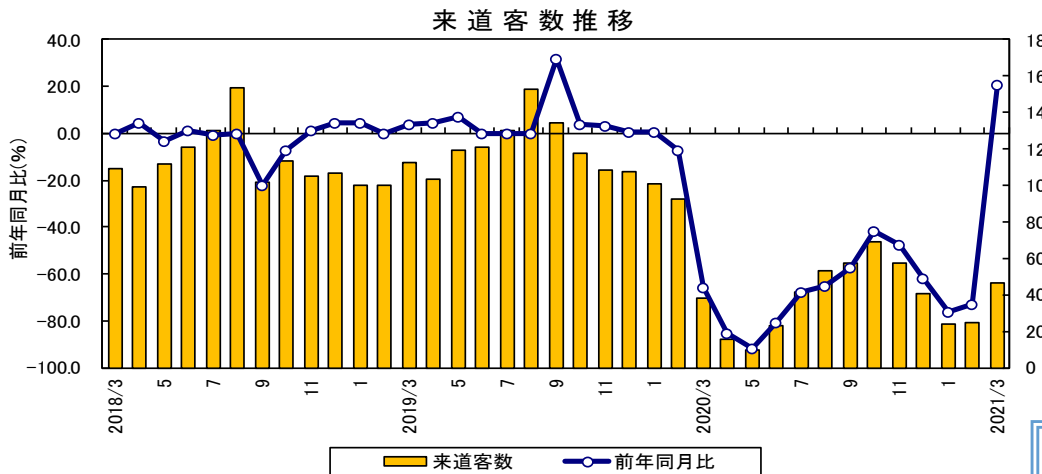


## 【ヒアリング内容】

- 衣料品や化粧品などの売上は依然として不振ではあるものの、ブランド品などの高額商品が比較的好調だった。(百貨店)
- 内食需要は継続しているものの、前年の食料品や日用品の買いだめ需要の反動がみられ、売上が減少した。(スーパー)
- 新型コロナウイルス感染症の影響を受けて以降、家飲みなどの家ナカ需要が継続しており、販売の基調に変化はみられない。(コンビニエンスストア)
- 大型テレビなどの大型家電が引き続き好調。また、携帯電話や新生活需要も順調に動いている。(家電大型専門店)
- 前年は、マスクやアルコール消毒液などが売上の増加に貢献したが、その反動が大きく影響している。(ドラッグストア)
- 衛生用品の売上が前年の反動により減少したものの、DIY需要が継続しているほか、天候に恵まれて園芸用品の売れ行きも良かった。(ホームセンター)

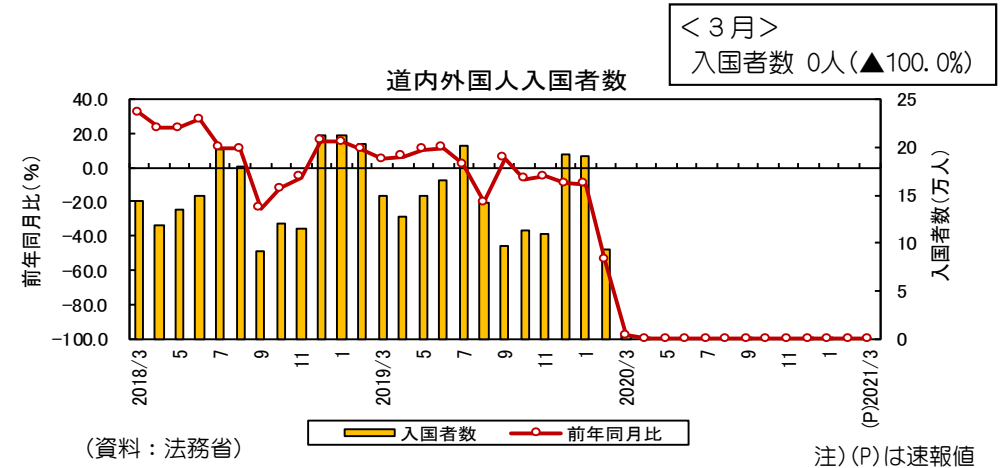
# 観光 ～ 一部に下げ止まりの兆しがみられる ～

3月の来道客数は、前年同月比+21.1%と14か月ぶりに前年を上回った。また、道内外国人入国者数は、0人で同▲100.0%と18か月連続で前年を下回った。



<3月> 来道客数 464,864人 (+21.1%)  
 ※北海道外から航空機(国内線)、JR(北海道新幹線)、フェリーを利用して来道した旅客数。  
 ※道内で入国手続きを行った外国人数は含まない。

(資料:(公社)北海道観光振興機構)

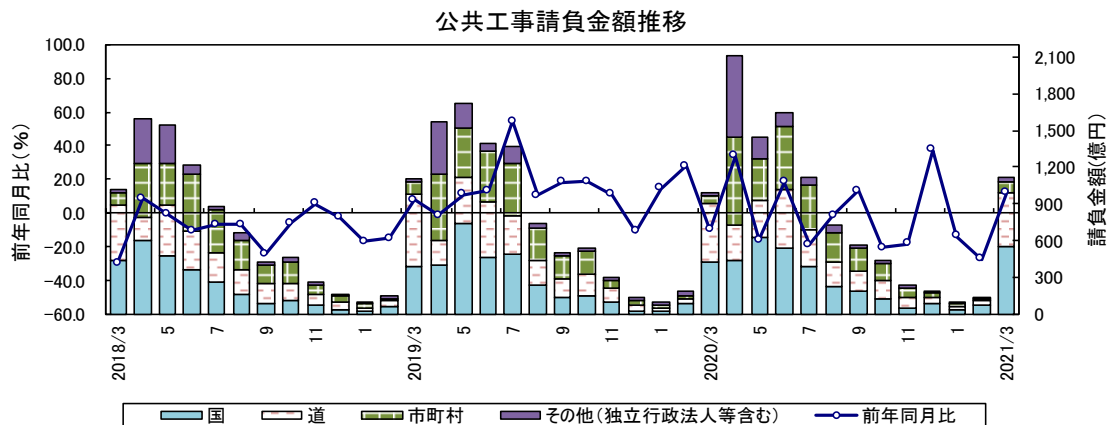


## 【ヒアリング内容】

- 3月の宿泊者数は前年比では増加し、底入れがあったという印象であるが、例年の4割程度である。先行きは、新型コロナウイルス感染症の拡大が続いており、警戒は必要ではあるものの、対策が一定程度図られたことなどにより、昨年よりも悪くなることはないのではないか。(関係機関)

# 公共工事 ～ 増加している ～

3月の公共工事請負金額は、道は前年を下回ったが、国、市町村が前年を上回り、前年同月比+12.2%と3か月ぶりに前年を上回った。



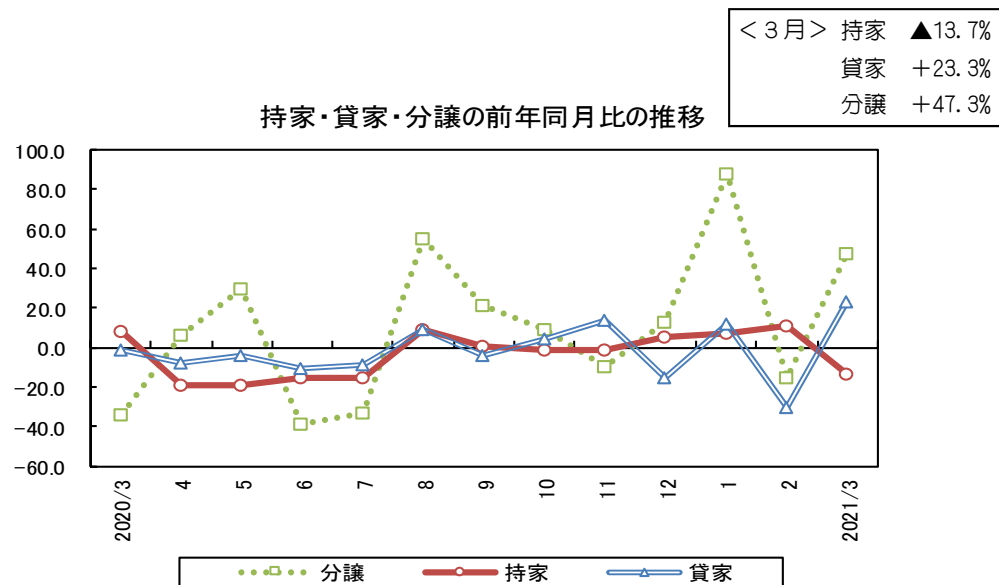
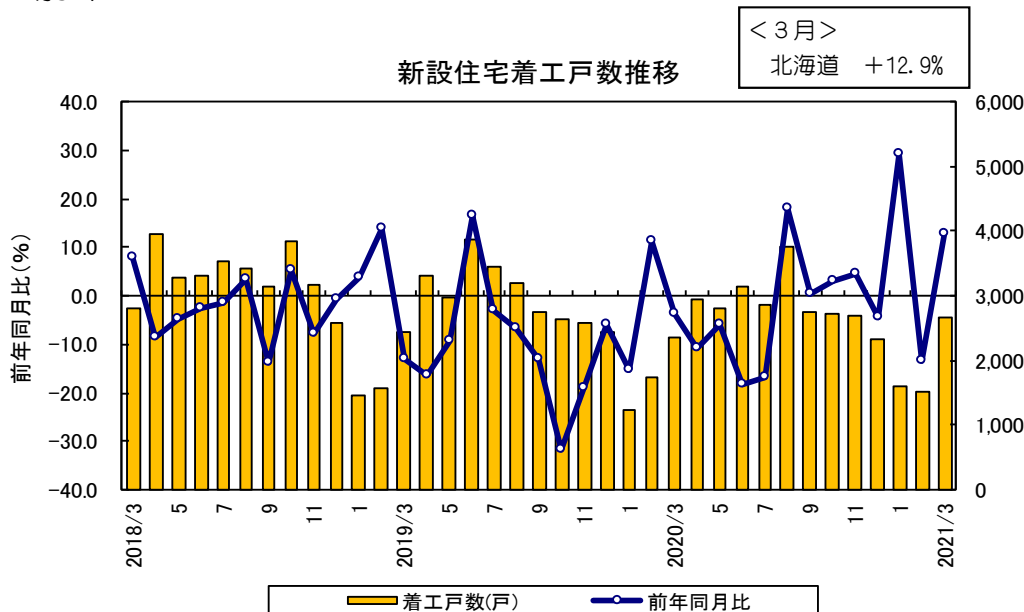
<3月>  
 北海道 +12.2%  
 (内訳)  
 国 +28.0% 道 ▲5.0% 市町村 +16.8% その他 +49.9%

(請負金額は国、道、市町村、独立行政法人等の合計額)

(資料:北海道建設業信用保証(株)ほか2社)

# 住宅建設 ～ 持ち直しの兆しがみられる ～

3月の新設住宅着工戸数は、持家は前年を下回ったが、貸家、分譲が前年を上回り、前年同月比+12.9%と2か月ぶりに前年を上回った。



(資料：国土交通省)

# 民間設備投資 ～ 減少している ～

2020年度の設備投資計画は、全体で前年度比▲13.0%と4年ぶりに前年度を下回った。なお、2021年度は前年度を下回る計画となっている。

日銀短観の設備投資動向

2021年4月1日発表

	2020年度	2021年度
北海道	▲ 13.0%	▲ 4.7%
製造業	▲ 0.4%	▲ 21.3%
非製造業	▲ 19.1%	+ 5.0%
全国	▲ 5.5%	+ 0.5%

注) 土地投資額を含み、ソフトウェア投資額、研究開発投資額を除く。

注) 北海道は、電気・ガスを除くベース。

(資料：日本銀行札幌支店)

法人企業景気予測調査(北海道・設備投資)

2021年3月12日発表

	2020年度	2021年度
全産業	▲ 8.6%	▲ 11.7%
製造業	▲ 17.7%	▲ 27.4%
非製造業	▲ 2.9%	▲ 3.7%

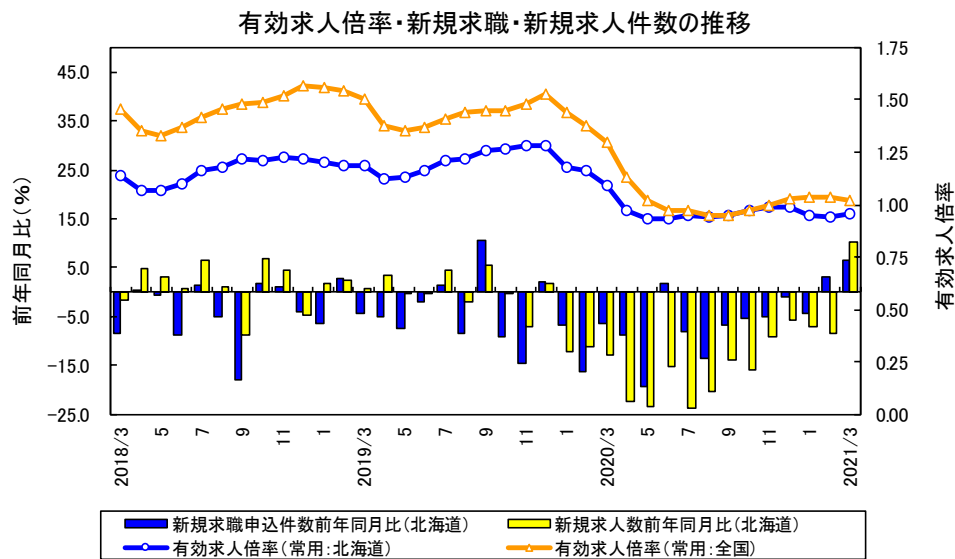
※数値は対前年比増減率。

注) ソフトウェア投資額を含み、土地購入額を除く。

(資料：北海道財務局)

# 雇用動向 ～ 弱い動きがみられる ～

3月の有効求人倍率は、0.96倍と前年同月差0.13ポイント減少し、15か月連続で前年を下回った。

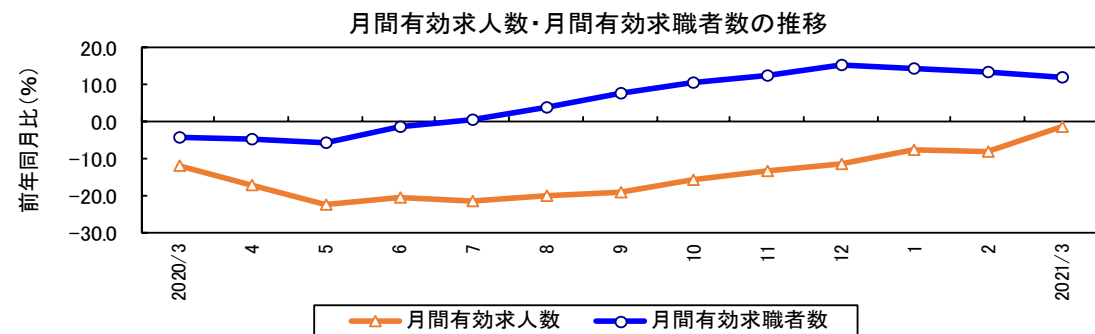


< 3月 >

北海道	有効求人倍率(常用)	0.96倍
	新規求人件数(前年同月比)	+10.1%
	新規求職申込件数(前年同月比)	+6.6%
全国	有効求人倍率(常用)	1.02倍

< 3月 >

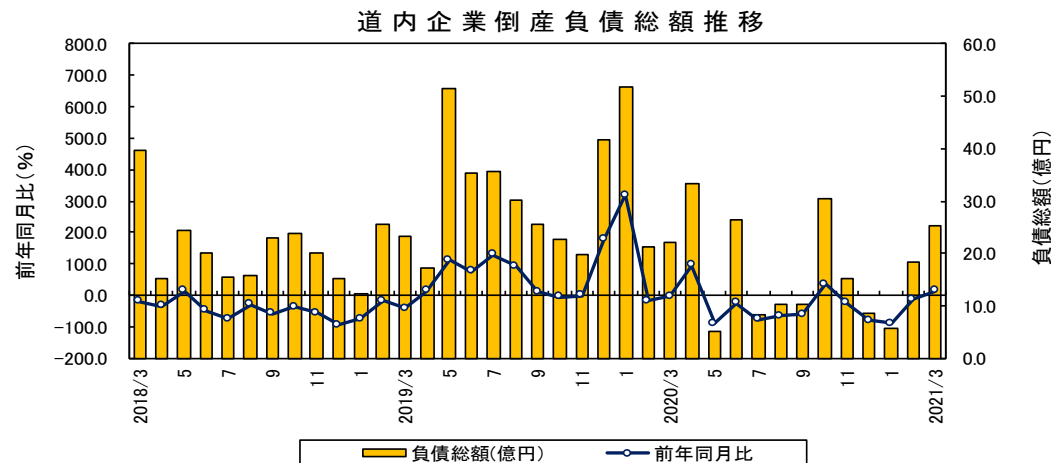
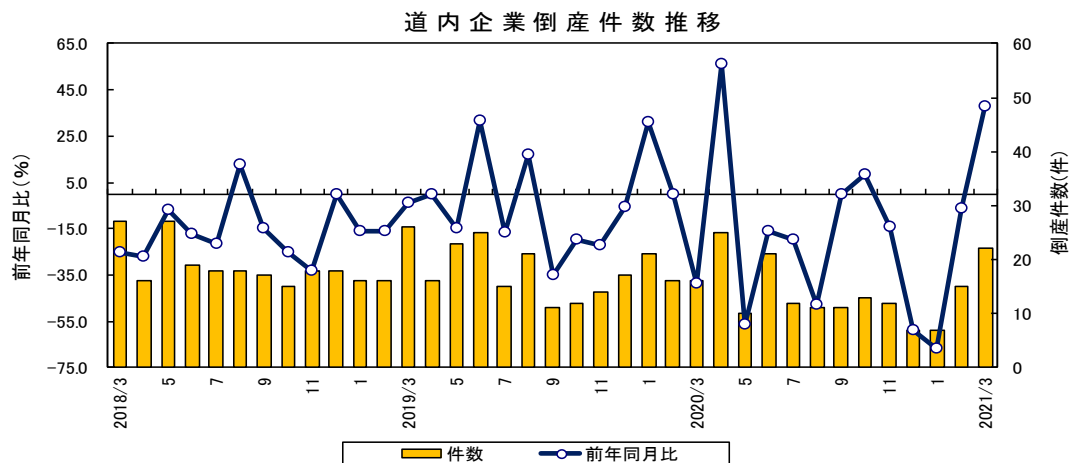
月間有効求人人数	(前年同月比)	▲ 1.3%
月間有効求職者数	(前年同月比)	+11.8%



(資料: 厚生労働省、北海道労働局)

# 企業倒産 ～ 件数、負債総額とも増加している ～

3月の倒産件数は22件で前年同月比+37.5% (6件増)、また、負債総額は25.2億円で同+13.5%と、いずれも5か月ぶりに前年を上回った。



(資料: (株)東京商工リサーチ)